

# ふみびと

## ちいさい季節

第264号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

# 全国を結ぶ 手紙の架け橋

「ちいさい秋見つけた」

きつと誰もが知っている有名な童謡。夏の暑さが和らいでくると、ふと子どもの頃に戻ったようにそのフレーズが頭をよぎります。

真夏には朝から水のシャワーを浴びていたのが少しずつ寒く感じてきたり、寝るときのかけ布団を一枚増やしたり、あるいはもう乾いていると思っていた洗濯物がまだ湿っていたり。外に出なくても家にいる少しの間にも季節の移り変わりを感じる

節の移り変わりを感じる

「ちいさい秋見つけた」と思っているのも束の間、ついこの間まで半袖で暑がっていたのが嘘のように、あの暑ささえも恋しい季節を迎えています。

毎年同じように迎えていても新鮮に感じられ、そして少し過ごし方に戸惑う季節の変わり目。突然やってくるわけではない次の季節への小さな変化を少しずつ感じながら過ごすことができるのは、

四季という一つの「文化」

のようなものを重んじる日本人ならではのなのかもしれません。

一年の十二ヶ月を半分に分けた二十四節気。さらにそれを五日ごとに分けた七十二候は、まるで「ちいさい秋」を見つけたような「ちいさい」季節の変化を愛でるためにあるような気もします。



（私たちははじめてきばむ）という第六十候。柑橘類の実が黄色く色づくことから名付けられたそうです。 たったひと月の間に六度も移り変わる「ちいさい」季節。ちよつとした季節の変化を探してみたいかがでしょうか。四季の移り変わりを七十二度感じられる、そんな豊かな一年を過ごせるかもしれません。

### 次回発送日

12月の発送日

12月2回目（31日）の発送は、例年賀状などの郵便事情の影響を考慮し、お休みとなります。

それに伴い、より多くのお手紙を回送できるようにするため、通常15日の発送を12月19日に変更致します。送りたいお手紙がある場合には、17日までに事務局に到着するよう、投函をお願いいたします。

### 1月の発送日

来年1月の発送は各回とも通常通り（15日、31日）の予定です。

### 宝探し

手紙が伝えるぬくもりは、寒い冬でも消えることはない。届いた手紙を開いてみると、そこには、ほつとできる瞬間や非日常を感じられるワクワク感がある。最近の様子など大した内容ではないのだが、そんな遠い地での日常の様子や文通相手への想像をかき立てる。何気ない様子を伝え合っ

たり、趣味や思いを語りあうことの大切さを改めて感じるひと時である。そして、その文面の中に垣間見えるこちらを気遣う、目には見えない優しさがその人のぬくもりを伝えてくれることもある。い

つもは冗談やお茶目な内容で手紙の交換を楽しんでいても、こちらの変化を敏感に察してくれていることが素直に嬉しい。手紙の中に散らばる、まだ見ぬ相手からのメッセージは世界で一つの宝物。そして何より手紙でつながる友人が全国にできることは、人生の楽しみの一つだろう。



**風にゆられて誰かに届け！**  
**風船便**

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信筒に同封下さい。な始の流です。

